

J C B L 第 2 次 5 ヶ 年 計 画

企画委員会

J C B L では、長期的観点に立ったうえで効率的かつ効果的に事業の活性化を図っていく必要があるとの認識のもと、2003年度より長期ビジョンに基づく中期計画を5年毎に策定して事業活動を行っています。2003年度から2007年度にかけては、この方針に基づく初めての試みとして「第1次5ヶ年計画」を実施しました。2008年度からは「第2次5ヶ年計画」に基づいて、引き続き長期的な視野に立った事業活動を行ってまいります。以下に、「第2次5ヶ年計画」の概要をご紹介します。

第 2 次 5 ヶ 年 計 画 （ 2 0 0 8 ～ 2 0 1 2 年 度 ） の 骨 子

「ステップアップ2012 ～飛躍に向けて～」

- ① 連盟事業の改善（企画委員会・事務局）
 - (a) 健全な財務体質の実現（企画委員会・事務局）
目標：損益分岐点以上の収支水準で事業を拡大できる財務体質の確立
 - (b) 事業の効率化・質の向上（事務局）
目標：連盟事業・事務局業務の全般的な効率化／サービス全般の質の向上
／ブリッジに関するノウハウセンターとしての役割の確立

- ② 競技会関連サービスの向上
 - (a) 競技会場の環境改善（センターサービス向上委員会）
目標：常設ブリッジ会場におけるゲーム環境・サービスの改善
 - (b) 魅力ある競技会の開発（競技会事業部・普及事業部）※①(a)と関連
目標：魅力ある競技会の開発と競技会参加者の増加

- ③ 戦略的普及活動の推進（普及事業部）
 - (a) 地方大都市圏の活性化（普及事業部に担当プロジェクトを設置）
目標：地方大都市圏におけるブリッジの活性化
 - (b) 普及システムの強化（普及事業部・教育部会／普及部会） ※①・②(b)と関連
目標：ブリッジ体験者が継続しやすい環境の整備とシステム化

- ④ 国際事業の活性化（国際事業部・普及事業部）
 - (a) P A B F 大会の開催（国際事業部）
目標：P A B F 大会を誘致・開催して同地域内のブリッジの普及・発展に寄与する
 - (b) マインドスポーツ普及活動の支援（国際事業部・普及事業部）
目標：I M S A と連携してマインドスポーツ普及活動を積極展開、国内外でのマインドスポーツ、ブリッジの認知度の向上を図る

1. 中長期計画全体の枠組み

(1) 「J C B Lの使命」

「コントラクトブリッジの普及及び発展を図ると共に、コントラクトブリッジによる交流を行い、もって国際親善と文化の向上に寄与する」（定款の目的）

(2) 事業の対象

会員・非会員を問わず、またJ C B Lとの係わりが既存のものであるか将来的なものかを問わず、ブリッジ愛好者及び事業関係者（クラブ、教師、ディレクター、会場提供者、海外組織などを含む）に対して広範なサービス・支援・協力活動を行う。

(3) J C B Lの方針の「長期的ビジョン」

J C B Lの使命に沿って、会員・非会員を問わずブリッジ関係者全般に対して、サービス・支援・協力活動を行っていく。この方針に基づき、5年毎に中期計画を策定し、事業活動の見直しと改善を図る。

(4) 現状認識

第1次5ヶ年計画では、「事業体制の整備」に焦点を当てた以下の指針を据えて個別目標を設定して事業活動の改革に取り組み、目標は概ね達成した（詳細は第1次5ヶ年計画報告書参照）。これにより、堅固な事業基盤を構築していくための基礎はほぼ固まったと言えよう。

「J C B Lの使命を遂行していくため、普及活動を一段と活性化させ、また、会員・非会員を問わずブリッジに関わる人々・組織全般に対するサービス・支援・協力体制を整備する。」

長期的観点からこれを見ると、ここまではホップ・ステップ・ジャンプの3段階に例えるなら、大きく飛躍するための準備段階として第一歩を踏み出す「ホップ」の段階にあったと位置づけられる。

(5) 第2次5ヶ年計画（2008年度～2012年度）の指針

第2次5ヶ年計画では、次の段階として「ステップアップ」を目指したい。具体的には、J C B Lの使命を遂行していくため、より健全な財務体質を作りあげるとともに、競技会を取り巻く環境整備と普及システムのさらなる改善を図り事業基盤を強化する。また、国際事業の活性化を図り、国内外でのブリッジの認知度向上に努める。

2. 第2次5ヶ年経計画の概要

(1) 具体的目標

2008～2012年度5ヶ年計画の基本指針に沿って特定した目標は以下の通り。各関連担当部署は、この目標に沿って計画の詳細をまとめ実施する。

①・連盟事業の改善（企画委員会・事務局）

(a) 健全な財務体質の実現（企画委員会・事務局）

目標：事業基盤をさらに強化するための次のステップとして、事業収支水準を損益分岐点に最低限維持しつつ、健全な財務構造のもとでブリッジの発展のために事業活動を拡大・充実化できるような体制を構築する。

i) 収益部門の改善

事業を拡大していくための財源を確保するため、収入を増やす手段を検討、実施する。

ii) 支出部門の改善

予算及び支出管理を徹底し、コスト削減努力を継続する。

(b) 事業の効率化・質の向上（事務局）

目標：連盟事業・事務局業務の効率化をさらに推進すると同時にサービス全般の質を向上させる。また、日本におけるブリッジに関するノウハウセンターとしての役割を確立させる。

②・競技会関連サービスの向上

(a) 競技会場の環境改善（センターサービス向上委員会）

目標：ブリッジセンターなど常設ブリッジ会場におけるゲーム環境を常時見直して改善・維持していくことのできるシステムを構築し、会員・会友及びその他のゲーム参加者に対するサービス向上を図る。

(b) 魅力ある競技会の開発（競技会事業部・普及事業部）※①(a)i)に関連

目標：プレイヤーにとって魅力ある競技会を開発し、競技会参加者を増やす。

③・戦略的な普及活動の展開（普及事業部）

(a) 地方大都市圏の活性化

目標：将来、全国レベルでブリッジを普及させていく足掛かりとして、既に多数の会員・会友を有している地方の大都市圏からターゲット地域を特定して重点的に活性化を図る。

(b) 普及システムの強化 ※①及び②(b)に関連

目標：第1次5ヶ年計画では「裾野を広げる」ことに重点を置いたので、次の段階

では「プレイヤーを増やす」ことに焦点を当て、ブリッジ体験者たちが継続してブリッジを楽しむプレイヤーに育っていくのを後押しするためのシステムを整備し、これに基づいて普及活動を展開していく。

④・国際事業の活性化（国際事業部・普及事業部）

(a) P A B F 大会の開催

目標：本5ヶ年計画期間中にP A B F選手権を誘致・開催して、アジア太平洋地域内におけるブリッジの普及と発展に寄与するとともに、日本国内におけるブリッジの認知度の向上を図る。

(b) マインドスポーツ普及活動の支援

目標：I M S Aと連携してマインドスポーツ普及活動を積極的に展開し、国内外でのマインドスポーツ、ブリッジの認知度の向上を図る。

(2) 実施スケジュール

2008年度： 各担当部署による基礎調査、計画立案、理事会承認
着手できる分野は、適宜、方策の実施を開始

2009年度～： 計画の本格実施開始

2010年度： 中間報告

2012年度： 最終報告

次期5ヶ年計画の策定

